

プレスリリース
PRESS RELEASE
2019/6/14

アーツ前橋
ARTS MAEBASHI

Takayuki Yamamoto × Arts Maebashi

山本高之とアーツ前橋の
ビヨンド
BEYOND
~~2020~~

未来を考えるための教室

Fri, 19 July 2019 — Mon, 16 September 2019
令和元年七月十九日[金]▷九月十六日[月・祝]



概要

アーツ前橋は「創造的であること」「みんなで共有すること」「対話的であること」の3つを活動コンセプトに、コレクションや展覧会、地域アートプロジェクト、学校や福祉施設との協働など、多岐にわたる取り組みをおこなってきました。本展では、アーティストの山本高之とアーツ前橋の学芸員が〈美術〉を通じた学びとは何かを共に議論し、これからの〈美術／美術館〉の役割について考えます。

本展覧会は、大きく分けて3つのセクションに分かれます。第一部は、「ビューティフル・ハーモニー／Beautiful Harmony」と題し、アーツ前橋の事業を「コレクション」「地域アートプロジェクト」「市民との協働」という視点から振り返ります。学芸員がそれぞれの経験を元に、担当事業を分析しながら、「相互的な学び」について考えます。第二部は、「あの夏、いちばん静かな海。／A scene at the Sea*」と題し、山本高之とアーツ前橋学芸チームがサーフィンを通じて交流する様子を作品化します。「波に乗る」という未知の体験を共有することで、どんな未来へ向けたアイデアが生まれるのでしょうか。第三部は、「未来は今／The Future is Now」と題し、山本高之が前橋での滞在の間に、市民と関わりながら、取り組んだ新作を展示します。「教育にはその時代、その地域の大人たちが思い描く未来像が反映されている」と山本は言います。本展で発表される新作《ビヨンド 2020 道徳と芸術》では、SF映画のような世界観のなかで、教育と未来の関係性が示されていきます。

私たちの未来は、多様な「学び」を通して過去と現在が結びつけられ形成されていきます。アーティストと美術館の対話を通じて生まれた体験の先にはどんな未来が示されるのでしょうか。

*引用元：『あの夏、いちばん静かな海。』北野武監督、1991年公開

本展の見どころ

〈美術〉を通じた相互的な学びとは何かを考える

〈美術〉といっても、その意味は時代や場所によっても異なり、私たちの生活の中にも存在しているものです。美術館、学校、公民館、家庭など異なる形で実践される〈美術〉にはどのような社会における役割が考えられるでしょうか。〈美術〉の現場では、これまでの知識や教養としての教育的要素のみならず、それぞれの活動を通じて、プログラムを作る側も参加する側も互いに学び合う新しい形に変化しつつあります。学習指導要領が改訂される現代の教育システムにおいても、個人の表現を尊重する〈美術〉は、重要なものになるはずで、本企画展では、多様な関連イベントを通じて、相互的な学びについて考える機会を提供します。

アーティストの企画と学芸員の対話から生まれる新たな視点

本展は、アーティスト・山本高之とアーツ前橋の共同企画という形で作られました。開館からこれまでのアーツ前橋の活動は、コレクション、展覧会、地域アートプロジェクト、学校や福祉施設との協働など地域に根差したさまざまな活動を行ってきました。また、山本は市民や子どもたちとの協働を通じて作品を制作するだけでなく、ロンドンのテート・ギャラリーの教育普及プログラムのリサーチを行うなど、まさに美術を通じた学びを実践しています。美術館とアーティストが、お互いの経験を持ち寄り、意見交換を通じて、これからの社会における美術館／美術の役割を改めて問い直します。

子どもたちと共に作る新作の発表

本展で発表される新作《ビヨンド 2020 道徳と芸術》は、山本が前橋滞在中に市内在住の子どもたちと行ったワークショップを通じて制作されたものです。山本自身が小学校教員の経験があることから、作品には常に教育や大人の視点への問いが提示されます。今回は、清心幼稚園の園児たちと高等美術教育においては重要とされるヌードデッサンを試みたり、公募で集まった子どもたちと前橋市議会議員の肖像画を描くなど、アーティスト独自の視点からプログラムを組み立てています。

開催概要

- 【**展覧会名**】 山本高之とアーツ前橋のビヨンド 20XX 展 未来を考えるための教室
- 【**会 期**】 2019年7月19日（金）～9月16日（月・祝）
- 【**開館時間**】 10:00～18:00（入場は17:30まで）※4月から開館時間を変更しました
- 【**休 館 日**】 水曜日
- 【**会 場**】 アーツ前橋 1階ギャラリー（無料）および地下ギャラリーの一部
- 【**観 覧 料**】 一般500円／学生・65歳以上・団体（10名以上）300円／高校生以下無料
- ※「Art Meets 06 門馬美喜／やんツー」展と共通チケット
- ※障害者手帳をお持ちの方と介護者1名は無料
- ※児童扶養手当証書をお持ちの方は無料
- ※「わくわく子どもまつり」の8月10日（土）および「国際識字デー」の9月8日（日）は無料
- ※猛暑割：最高気温35度以上の日にご来場された方は観覧料300円
- 【**主 催**】 アーツ前橋
- 【**協 力**】 群馬大学教育学部 美術教育講座、株式会社すいらん、学校法人清心学園 清心幼稚園、前橋シネマハウス

同時開催

- 【**展覧会名**】 Art Meets 06 門馬美喜、やんツー
- 【**会 期**】 2019年7月19日（金）～9月16日（月・祝）
- 【**休 館 日**】 水曜日
- 【**会 場**】 アーツ前橋 地下ギャラリー
- 【**観 覧 料**】 「山本高之とアーツ前橋のビヨンド 20XX」展の観覧券でご入場いただけます。

プレスプレビュー

- 【**期 日**】 2019年7月18日（木）
- 【**時 間**】 14:00～18:00（※最終入場時間は17:30）
- ※14:30より本展共同企画の山本高之と学芸員が作品を紹介します。

関連イベント

① 【ワークショップ】近未来SF映画のワンシーンをつくろう

会期中、山本高之の作品展示室で舞台セットを使い近未来SF映画《ビヨンド 2020 道徳と芸術》のシーンを撮影していきます。

日時：7月27日（土）11:00 から 12:00 / 15:00 から 16:00

講師：山本高之（アーティスト / 本展共同企画）

会場：アーツ前橋 山本高之作品展示室

定員：先着 15 名（当日先着順）

対象：子どもから大人まで

参加費：無料（要観覧券）

② 【ワークショップ】山本高之と行く群馬の森

山本高之と一緒に、群馬の森を散策し歴史を学びます。歴史的背景を持った遺構や史跡の実物をよく観察し、粘土を使って造形物をつくります。

日時：7月28日（日）13:00 から 16:00

講師：山本高之（アーティスト / 本展共同企画）

場所：群馬の森（群馬県高崎市綿貫町 922-1） ※現地集合・解散

定員：先着 15 名 * 要申込

対象：小学生

参加費：無料

③ 【トーク&ライブ】サーキットベンディングの世界 講義編

音の出るおもちゃを改造して別の楽器にしてしまう、サーキットベンディングの知られざる世界について、ゲストによるトークとライブパフォーマンスを行います。

日時：8月2日（金）18:00 から 20:00

講師：Kaseo（サーキットベンダー）

会場：アーツ前橋 1F ギャラリー

定員：先着 30 名 * 要申込

参加費：無料

④ 【トーク】**図工と道徳**

「図工と道徳教育」について、専門家を招き、未来の学びのあり方について議論するトークイベントです。

日時：8月25日（日）14:00 から 16:00

登壇者：東良雅人（文部科学省初等中等教育局 視学官）、郡司明子（群馬大学 教育学部 准教授）ほか

会場：アーツ前橋 スタジオ

定員：先着 40 名*要申込

参加費：無料

⑤ 【ワークショップ】**サーキットベンディングの世界 実践編**

電子チャイムを使ってサーキットベンディングに挑戦します。ワークショップの後には、講師によるパフォーマンスも行います。

日時：9月15日（日）11:00 から 16:30*途中お昼休憩をはさみます

講師：谷浦朋文（世紀マ3）

会場：アーツ前橋 スタジオ

定員：先着 15 名*要申込

対象：小学生以上（小学校低学年の子どもは保護者同伴）

参加費：1,000 円

*ワークショップではハンダ付けを行います。

*ワークショップの様子は見学いただけます。また終了後、17 時から行う講師によるパフォーマンスライブはどなたでもご参加いただけます。

⑥ 【イベント】**山本高之とアーツ前橋学芸員によるギャラリーツアー**

日時：8月4日（日）、8月24日（土）各日とも 14:00 から 14:30

参加費：無料*要観覧券

⑦ 【イベント】**おしゃべりアートデイズ**

作品について気づいたこと、感じたことを自由に話ながら鑑賞します。

日時：9月2日（月）～8日（日）

※月火木金は 14:00 から 14:30、土日は 11:15 から 11:45

参加費：無料*要観覧券、要申込

プレスリリース
PRESS RELEASE
2019/6/14

アーツ前橋
ARTS MAEBASHI

⑧ 【イベント】ロビーライブ vol.20「親子でおどろう♪ダンスミュージック！」

日時：8月31日（土）15：30 から 18：30

ゲスト：DJ Shhhhh

料金：ワンドリンクオーダー制

場所：ロブソンコーヒー アーツ前橋店

申込：不要

※全て問い合わせ・申込みはアーツ前橋（tel:027-230-1144）まで

山本高之 略歴

1974年愛知県生まれ。愛知教育大学大学院修了後渡英。ロンドン大学チェルシー・カレッジ・オブ・アート・アンド・デザイン修了。小学校教諭としての経験から「教育」を中心テーマのひとつとし、子どものワークショップをベースに会話や遊びに潜む創造的な感性を通じて、普段は意識されることのない制度や慣習などの特殊性や、個人と社会の関係性を描く。近年は地域コミュニティと協働して実施するプロジェクトに多く取り組んでいる。2017年度に文化庁新進芸術家海外研修にてロンドン滞在。主な展覧会に「ゴー・ビトゥイーンズ展：こどもを通して見る世界」（森美術館ほか、2014-2015年）、コチ＝ムジリス・ビエンナーレ（インド、2016年）。近年の個展に「山本高之 Children of men」（アートラボあいち、2017年）など。近著に『芸術と労働』（共著、白川昌生＋杉田敦編、水声社、2018年）がある。



撮影：加藤甫

提供可能画像

【1】



【2】



【3】



【4】



【5】



【1】《Facing the Unknown》2012年

【2】《きみの未来をおしえます、サンフランシスコ》2012年

【3】《まばゆい気分でー未来の東北博覧会'87》2015年 展示風景

【4】《どんなじごくへいくのかな、愛知》2010年

【5】《チルドレンズ・プライド、上石神井駅》2011年

「山本高之とアーツ前橋のビヨンド 20XX」広報用画像申込書

アーツ前橋 広報担当 宛 FAX 027-232-2016

ご希望の画像の番号に○を付けてください。画像(JPEG)をメールにてお送りいたします。

*本展覧会の広報を目的とする場合に限り、ご提供いたします。個人のブログへの掲載や鑑賞等を目的とする場合にはご提供できません。

*掲載にあたっては、キャプション・クレジット等を正確に表記してください。

番号	キャプション・クレジット
【1】	《Facing the Unknown》2012年
【2】	《きみのみらいをおしえます、サンフランシスコ》2012年
【3】	《まばゆい気分でー未来の東北博覧会'87》2015年 展示風景
【4】	《どんなじごくへいくのかな、愛知》2010年
【5】	《チルドレンズ・プライド、上石神井駅》2011年

◎読者プレゼント用招待券(5組 10名様) 希望します 希望しません

媒体情報 *できるだけ詳しくご記入ください。

掲載誌：	
発行日：	発行元：
貴社名：	
部署名：	担当者名：
所在地： 〒	
TEL：	FAX：
E-MAIL：	

記事掲載についてのお願い

- ・掲載にあたっては、展覧会名称と会期を表記してください。
- ・画像等を掲載する場合は、キャプション・クレジット等を正確に表記してください。
- ・掲載記事やVTRは、資料として保管いたしますのでアーツ前橋までご送付ください。
- ・取材、収録等は、必ず事前にお問い合わせください。

お問い合わせ

アーツ前橋

前橋市役所文化スポーツ観光部文化国際課 担当：今井・沼下(学芸担当)、新保(事務担当)

〒371-0022 群馬県前橋市千代田町 5-1-16

TEL：027-230-1144 FAX：027-232-2016

URL：<http://www.artsmaebashi.jp/>

Email：artsmaebashi@city.maebashi.gunma.jp

交通案内

アーツ前橋

[公共交通機関]

JR 前橋駅から徒歩約 10 分

上毛電鉄 中央前橋駅から徒歩約 5 分

[自動車]

関越自動車道 前橋 IC から車で約 15 分



※**P**マークの駐車場のご利用に関しては、駐車券に 4 時間無料の割引処理をいたします。